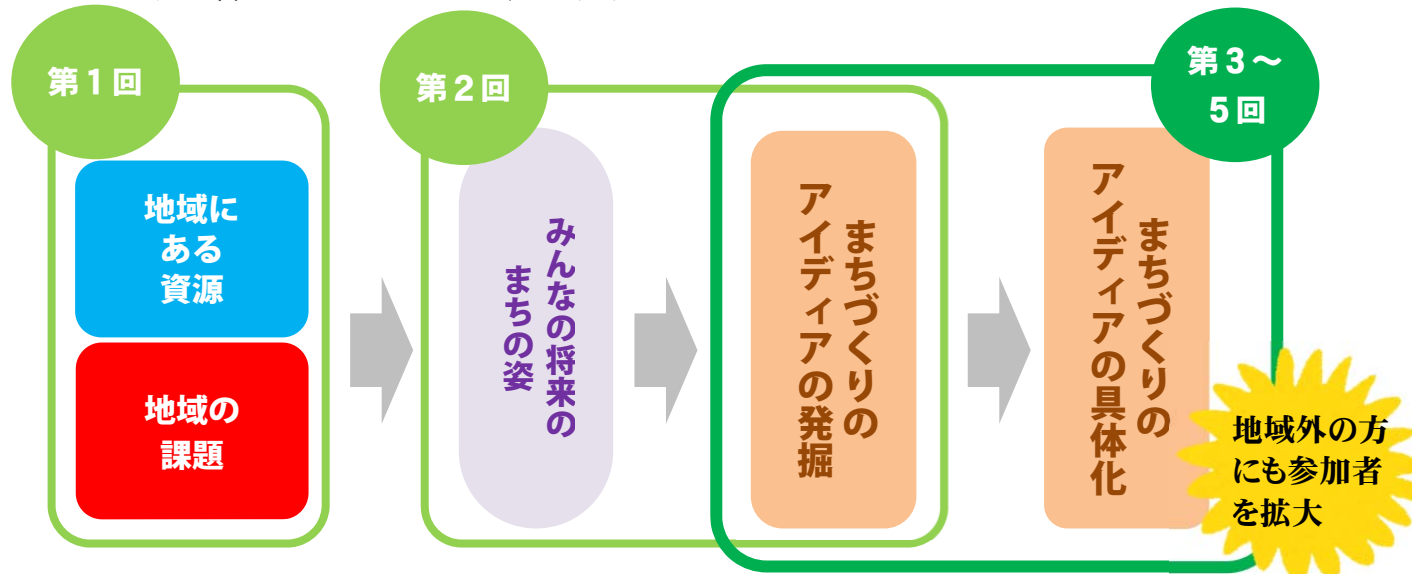




まちづくりのアイデアの実現に向けて、引き続き検討を行います！

第1回と第2回のワークショップでは、相模湖駅周辺や小原宿にお住まいの方々に参加いただきながら意見交換を重ねてきました。第1回では地域の「資源や課題」、第2回ではみなさんがそれぞれ思い描く「将来のまちの姿」と「まちづくりのアイデア」について、みなさんの熱い想いやアイデアが出されました。

第3回以降は、アイデアの実現化に向けて活動メンバーを増やすために、参加者を地域の方々以外にも拡大して開催します。詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせしてまいりますので、お知り合いの方々にもぜひお声がけください！



第2回ワークショップで活発な意見交換が行われました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみなさんが主体となって実現する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催します。

第2回ワークショップを10月1日（土）に相模湖総合事務所・大会議室にて実施しました。第1回が大盛況だったことから、前回よりも大きな会場に場所を移しての開催となりました。今回も相模湖駅周辺地区からは11名、小原宿地区からは14名とたくさんの方々にご参加いただきました。

第2回のテーマは「将来のまちの姿とまちづくりのアイデアを考えよう！」です。前回（第1回）の最後に「宿題」（内容は2・3ページに記載）をお願いしたところ、多くの方々に記入してお持ちいただきました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

まずは一つ目のテーマである「将来のまちの姿」です。みなさんの考える将来のまちの姿について発表していただきながら、テーブルごとに意見交換を行いました。続いて二つ目のテーマである「まちづくりのアイデア」では、地区ごとに大きな輪になってそれぞれアイデアを発表し、活発な意見交換が行われました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区のまちづくりのアイデアを全員で共有し、大盛況のうちに終了となりました。

各テーブルや地区で出された主な意見について、次ページでご紹介します。



※ワークショップ：講義などのように一方的に知識を伝達するのではなく、参加者が主体的に参加し、体験や話し合いを共有する中で、互いに何かを気づいたり学びあったり創り出したりする場

<まちあるき&第3回ワークショップのご案内>

まちあるき

開催日程：12月3日（土）
時 間：14：00～16：00
集合場所：相模湖総合事務所
2階正面 入口

※歩きやすい服装・靴、飲み物を持参してください

第3回ワークショップ

開催日程：12月3日（土）
時 間：17：00～19：00
集合場所：相模湖総合事務所
3階 大会議室

テ ー マ：「まちづくりのアイデアを考えよう！②」

第3回ワークショップでは、新しい方を参加者に迎えることから、ワークショップ開催の前に地区のまちあるきを行います。もちろん、これまで参加していた方の参加も大歓迎です！

まちあるきの後は、新しい参加者の方々も一緒に第2回で出された「まちづくりのアイデアの種」をもとに、さらなる新しいアイデアの種の発掘を行います。

お問い合わせ

相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 街づくり支援課

Tel:042-769-9252（直通） E-mail：machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp

相模原市 緑区役所 相模湖まちづくりセンター 総務・地域振興班

Tel:042-684-3240（直通） E-mail：sagamiko-cen@city.sagamihara.kanagawa.jp

「将来のまちの姿」

－相模湖駅周辺地区 Aグループ－

- 世代交代が進み子供は今以上に減り大人の町になり静かになる
- 相模湖駅周辺に公共施設とショッピング施設が複合した建物ができ、人口が増加した。湖では足漕ぎボート大会や湖から石老山までのハイキングコースが新設され、観光客で湖畔が賑わっている
- 子供達が楽しそうに話をしたり遊んでいる。その姿を近所のお年寄りが見守っている。医療機関が充実し、買い物もやすく、お年寄りや若者が暮らしやすい街になった。お年寄りとお年寄りが一緒にまちについて語り合うようになった
- 都会すぎず田舎すぎず自然を大切にすることで、観光客又買い物客がごった返す様な町

－相模湖駅周辺地区 Bグループ－

- 人口減。特に若い世代が減少していることで、街の活力が失われている。駅前に10階程度の集合住宅を建て、若い人にも買える価格で売り出し、人口を増やす。相模湖、藤野地区の都立高校への通学特別条例化により、非常に魅力的な物件となりうる。
- 人があふれる街
- 大人がちゃんとあいさつできる街、会話がはずむ
- 駅前にシンボルツリーがあり、人が集う
- 商店街のある町

【第2回にお願いした宿題】

「相模湖駅や小原の地区の理想的なまちの姿はどのようなものか、できれば写真・絵も入れて、文章(50~100文字程度)を考えてください！」



－小原宿地区 Aグループ－

- 小さな町に、山村の文化を発信する人と美しい空間が無数にある。山村の宿場町に固有の美しさが溢れ、歴史と現代が調和している。日本の山村文化の拠点として、世界中からひとが訪れる
- 地域の人口が減り、活気が無くコミュニケーションが薄れ、衰退して寂しい。人口減少が進み限界集落が増える。この状況を防ぐ1つの手段として地域をほのぼのとした陽だまりのように、又物の価値が判るいぶし銀の人が住みたくするような街にしたいものだ
- 子供から大人まで、自分達の地域の自然や歴史を他の人に自慢できるまち
- 自然の中に、花壇や広場、椅子、色々な物を作る事も良い事と思われるが、後の事を思うと草むしりや清掃に駆りだされる事になり年をとってからでは無理であり、これから先の人生は自分としては楽しく遊べる場所、皆が色々と遊べる場所、たとえば(囲碁、将棋、カラオケ、談話、喫茶)とか皆が楽しく遊べる場所が必要と思われます

－小原宿地区 Bグループ－

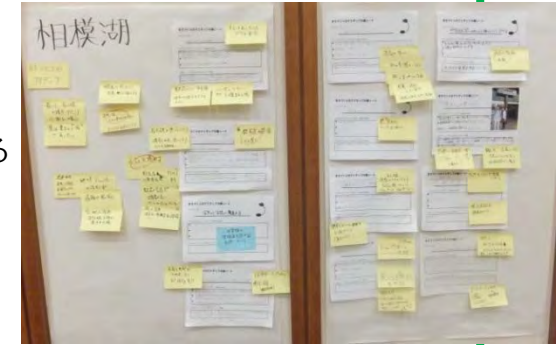
- この地に住んで良かったと思えるまち。また、自分の子や孫も住みたい、住み続けたいと思うまち、地域
- 小原の人が、小原で働く。相模湖全体で住民が、地元で働く場があることが、望ましいです
- 人との関わりがもてるまち
- まちなみが活かせるまち
- 色々な拠点があり、特徴がある
- 農業体験ができる
- 風景がとてもきれい
- 本陣と郷を拠点としたまちづくり

「まちづくりのアイデアの種」

－相模湖駅周辺地区－

- 音楽と湖のまち
- 祭を盛り上げよう
- 自然や坂道を活かして健康づくり
- スポーツとしてのポートカヌーの町として強くイメージづける
- 「アッキー」と歩こう！
- また行きたくなるような「森と湖のまち」を目指して！！
- 健康づくりやダイエット、ジョギングのできる公園を作る
- welcome よせ(与瀬)
- 5年後10年後地域高齢化がさらに進む
- ふれあい散歩道の整備
- 全市から生徒が通える
- 住みたい人掲示板の設置

等々



【第2回にお願いした宿題】

「まちづくりのアイデアを発掘するために、「まちづくりアイデアの種シート」を記入してください！」



－小原宿地区－

- 小原 BBQ 大作戦
- キャンプしましょう
- 朝市をもっとにぎやかにしたい
- 相模湖地域は宝がいっぱい
- おばら聞き書き
- 日本の山村文化(伝統的環境共生文化)の世界拠点化
- NHKの人気番組 プラタモリを行う
- 文化の高い地区にする
- 里の景観の向上
- 電柱の色を変える
- 新しい風
- おやきの拠点づくり
- 本陣の民営化(指定管理)
- 本陣・小原の郷の活用
- 心の活性
- みんなが集まれる場所
- 相模川の遠景を楽しめる場所を作る(桂橋方面)
- 草野広場の有効活用
- 青空広場
- 花の名所作り、市民農園、体験林

等々



「まちづくりのアイデアの種」については、次回(第3回)も引き続きアイデアの発掘を行いますので、新しいアイデアを考えた方は、「①アイデア名」、「②取組みの内容」、「③理由」を、どんどんお持ちください！